

(リハビリテーション科)

1. 概要

リハビリテーション科の診療は、リハビリテーションセンターと院内各病棟のベッドサイドで行っている。

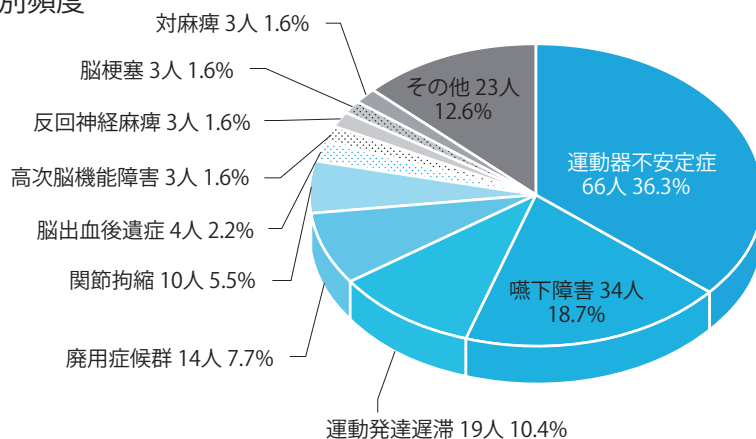
外来診療は、市内の他病・医院では行っていない小児の運動発達地帯、神経難病が中心で、その他、当院退院後の短期間の外来リハビリテーションなどを行っている。

入院診療は脳卒中や頭部外傷などの脳血管神経リハビリテーションと、骨折やリウマチなどの骨関節疾患に対する運動器リハビリテーションが最も多いが、最近では心筋梗塞や心不全に対する心大血管リハビリテーション、肺炎や慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器リハビリテーションも増加している。また、高齢者の嚥下リハビリテーションも多くなっている。これら入院リハビリテーションの多くは急性期リハビリテーションで、回復期リハビリテーションの段階になると、地域連携パスを通じて回復期リハビリテーション病棟を持つ病院に転院できるシステムができています。

リハビリテーション科

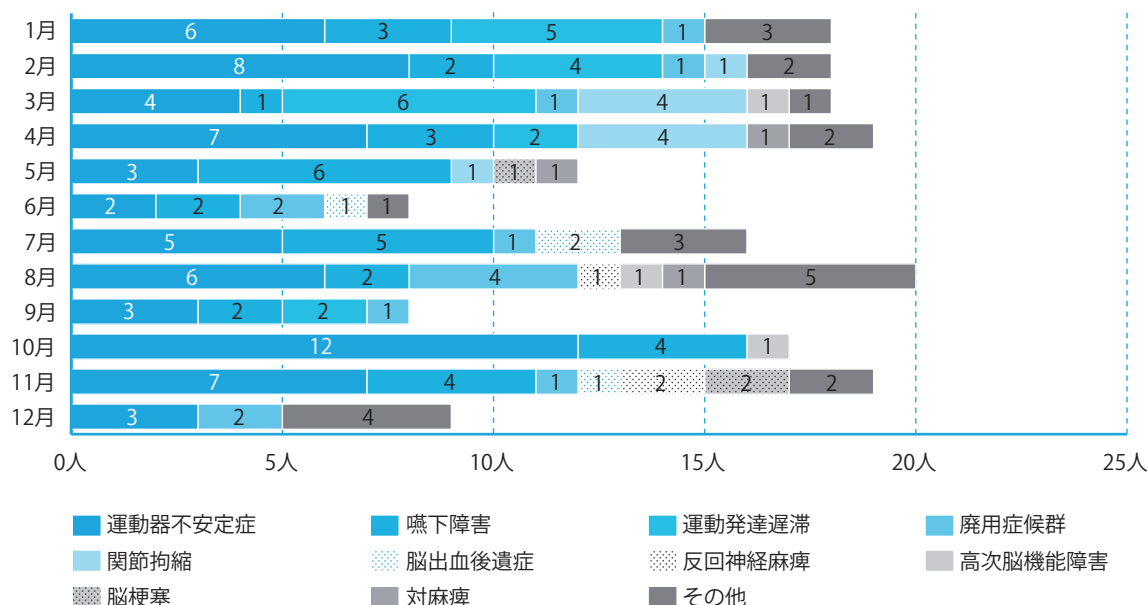
疾患別頻度

新患者数:182人



月別疾患別頻度

新患者数:182人



リハビリテーション科

科指定5疾患

新患者数:182人

1	脳血管神経疾患	37人
2	運動器疾患	110人
3	呼吸器疾患	1人
4	心・大血管疾患	0人
5	摂食・嚥下障害	34人
	計	182人